



## にほんごコラム

初めて日本語を勉強しに来たタイ人学生ブンさん。生まれて初めて書くひらがなを緊張した面持ちで練習中。ノートを上から覗いて「きれいですよ。」と褒めた私を悲しそうな目で見上げ、ノートを隠してしまいました。「なんで? 褒めたのに...」と思ってしまうのはつきました。タイ語で「キレイ」は「醜い・汚い」という意味。どうやら私に自分が書いた字を「汚い」と言われたと思っただけなんです。そりゃへこむわ。そんなブンさんですが、今ではひらがな・カタカナ・漢字も本当に「きれい」に書けるようになりました。それにしてもあの時の悲しそうなお目、忘れられません。ごめんね、ブンさん。  
28歳・女性



この日本語通信を手にとった方のほとんどは「日本語教室」の存在をご存知かと思います。でも、あなたのまわりの人はどうでしょう? いつ、どこで、どんな人がどうやって日本語を教えているのか...その実態は意外とナゾの様です。(ちょっと大げさですが。)

一人でも多くの北九州市民のみなさんに「日本語教室」の存在を知ってほしい。そして興味を持ってほしい。そんな熱い思いでこの「日本語通信」は生まれました。

もしあなたの周りに「興味がありそう」な人がいたら、この「日本語通信」を手にとりちょっと日本語や外国の話をしてみてはいかがでしょうか。

それでは、第2弾、お楽しみ下さい。年末拡大版です!!



## ☆☆「みなさんのギモンに答えます!」☆☆



Q: 日本語指導員の適正とは?

A: 「国籍等により学習者を差別しない。」  
「学習者の国や文化に対して理解がある。」

日本語指導員には、単に言葉を教えるだけでなく、学習者のよき相談相手であることが求められます。そのため、相手の国や文化を理解することは必要不可欠だと言えます。

Q: 困り者のボランティアさんってどんな人?

A: ①「英語を話したい人」「学習者を選ぶ人」

学習者が必ずしも英語圏の方だとは限りません。自分たちが暮らす地域にどんな外国人が住んでいるのかを知ることが大切だと思います。

るのかを知ることが大切だと思います。

②「来たり来なかったり、責任感のない人」

「教えるだけで、教室運営には興味がない人」

う〜ん、なかなか難しいですね。教室全体で目的意識を共有することが必要なのではないのでしょうか。日本語ボランティアは相手がいればこそ成り立つもの! 自分自身が積極的に関わって、そして成長していく。日本人にとってもそんな「場」であってほしいものです。



## ☆☆☆先月11日、中間市で『日本語きょうしつなかま』が開講! ☆☆☆ 今日はボランティアとして参加されている坂本さんにお話を伺いました。

◎日本語ボランティアを始めようと思ったきっかけは何ですか?

娘が留学中に滞在先の方に大変親切に頂きましたので、私も日本に住んでいる外国人の方のお手伝いが出来ればと考えて始めました。

◎実際始めてみてどうでしたか?

日本語を教えた事もなく、ボランティアをすること自体初めてなので日々奮闘しています。手探りの状態ですが、楽しいです!

◎今後、どんな教室を作りたいですか?

明るく楽しい教室を作りたいですね。学習者の方が毎回継続して通いたいと思えるような教室が理想です。

☆☆☆まだまだ開講したばかりの「日本語きょうしつなかま」ですが、ボランティアの方々のチームワークもすばらしく、みなさんが楽しそうに教室作りに取り組んでいる様子がとても印象的でした。  
外国人学習者、日本語ボランティア共に募集中! とのことです。(連絡先は紙面右下) ☆☆☆



## 北九州国際交流協会からのお知らせ。

国際村交流センターのラウンジには、日本語を学習する外国人の方や、日本語を教えている方々のために教材や情報を集めたリソースコーナーがあります。会員登録をして頂くと、1ヶ月、5冊まで貸し出しが可能です。(リソースコーナーの図書のみ) 会員登録ご希望の方は、住所のわかる身分証明証をお持ちください。



ご意見・ご感想はこちら↓  
k.sasaki@kitaq-koryu.jp  
あなたのオススメ図書大募集!!  
発行元:  
財団法人北九州国際交流協会  
北九州市八幡東区平野1丁目1-1  
電話)093-662-0055

## 日本語指導員突撃レポート ~今、ボランティアで日本語を教えている人にお話を聞いてみました。~

ニックネーム : シーモ (男・学生)

日本語通信: シーモさんはボランティアを始めてどのくらいですか?

シーモ: 1年くらいです。毎週金曜日の夜に活動しています。

日本語通信: 活動を通して大変だと感じたことはありますか?

シーモ: 始めは学習者と話すだけで精一杯でした。学習者の為に何をすればいいのかが分からず、周りの人のやっていることを見よう見まねで色々試していました。北九州国際交流協会の方やすでに取り組んでいた方に何度も相談させていただいて、少しずつ学習者の学習の手伝いができ

るようになってきたと思います。

日本語通信: では、うれしいことは?

シーモ: 学習者が継続して来てくれている事です。もっと頑張ろうという気持ちになります。

日本語通信: 最後に目標を聞かせてください。

シーモ: 学習者が主役になる教室をみんなの手で作っていきたいです。そして学習者が目指すことを手助けできる支援者になりたいです。ほくたちは学習者が選択したり、判断したりすることの手伝いをして、学習者が目標に近づいていくときの学習パートナー(学習者が一緒にやってやる気が出る人)になりたいです。